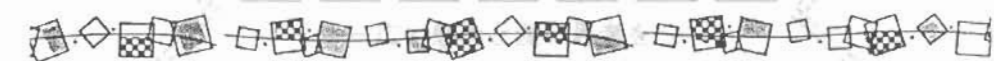


知識の詰まった頭脳より働く頭脳、考える能力を



鳥 貝 藤 真 穂 学 文

総合科学部長 天 野 貴

新入生諸君、入学おめでとう。共通一次試験が大学入試センター試験に変わり、A日程B日程、分離分割試験など入試の方法が変わった1990年に広島大学へ入学した諸君に心からお祝いの言葉を述べたい。

諸君はなぜ広島大学の各々の学部への入学を希望しその目的を達成したのであろうか。偏差値や社会的知名度だけで決めたのではないはずだ。すべてではないにしろ必ず将来自分としてはこのような分野で社会的活動をしように考えた部分があったと思う。入学式に際して感激の覚めないうちにじっくりと思いついてほしいものである。

論語に次のような文章がある。子曰「学如不及、猶恐失之」(学は及ばざるが如くするも、猶之を失はんことを恐る) 学問をしてみるとまだまだ追いつけないと思いたえず努力を続けても、それでもなお、目標を見失う恐れがあるものだ。目標をしっかりとつかんでおかなければいけないという意味である。若さに満ちた4年間は非常に早く過ぎてしまうであろう。今日のこの日に自分の目標をしっかりと定め悔いのない大学生活を送ってもらいたい。

広島大学のすべての学生は最初の1年半または2年間、一般教育(教養課程)を総合科学部で履修することになっている。日本の高等教育についてはいろいろと議論のあるところであり、その一つはこの一般教育の問題である。第二次大戦後なぜ一般教育が大学設置基準に規定されたのであろうか。学校教育法第52条には、大学は学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究すると記されている。諸君が将来国内及び国際社会で日本人として活躍する場合必

要不可欠な教養を身につけることを目的としたものである。バランスの取れた人間になるために人文、社会および自然の3分野にわたってしっかりと基礎的学習をしてもらいたい。多方面にわたっての感受性の高い青春時代に幅広い勉学をすることは必ず人間としての幅を広げ民主社会に貢献する国際人を育てるために必要である。

日本の中学校、高等学校時代の教育では何が重要視されているであろうか。大学入試のための知識の詰め込み、記憶した知識の量ではなかったか。最も大切なものは知識のいっばい詰まった頭脳よりはよく働く頭脳、考える能力である。大学における最初の授業一般教育では履修する授業科目の選択は大変自由である。自分で自分の時間割を作ることができる。安易な道を選び修得単位を揃えることは可能であろうが、決してやってほしくない。自分の将来の目標に則したバランスのとれた選択を自分で考え決めてほしいものである。大学における勉学は単なる知識の修得ではなく、自ら問い、自ら考え、自ら学び常に問題意識をもって主体的に学習することが肝要である。一つの問題に真剣に取り組めば必ずいろいろな分野の勉学が必要になるであろう。正しく深く理解するためには基礎的学力が必要になるはずである。どうか勉学の苦しみを乗り越えて、学問の真の楽しさを味わえる学徒になってほしい。

大学に入学した今、諸君は自分の目標をしっかりと立て、幅広い分野の勉学をせひしてもらいたいものだ。毎日毎日を自分で考え、自分で選択する能動的な学生生活を送られんことを期待している。